



加工専門のスタッフが作ったプリザーブドフラワーを、奈美子さんと女性スタッフの2名がアレンジする



プリザーブドフラワー制作の技術を習得した今も勉強の毎日。難しい注文を受けたときには講師に来てもらうこともあるそう



さつまファームレディ倶楽部や南原農園の取り組みが注目されるにつれて人と出会う機会が増え、交流の輪も広がった



仲間との絆が
挑戦する勇気をくれる

南原農園の皆さん。主にブライダル用として使われるアイビーがビニールハウスいっぱい広がる



さつまファームレディ倶楽部は茶育部会、花育部会などから成り、農家が抱える課題解決に向けて精力的に活動している

南原農園の経理や出荷、フラワーアレンジなど、毎日精力的に働く奈美子さんの心の支えになっているのは、地元的女性農業経営士の有志で結成された「さつまファームレディ倶楽部」の存在です。奈美子さんが所属する花育部は、勉強会や農家視察のほか、フラワーアレンジの体験教室や、高校生と花生産者の交流活動などを通して、花の消費拡大や後継者不足の解消といったさまざまな課題に取り組んでいます。「倶楽部のメンバーはみんな考え方が前向きなので、元気をもらえます。」

大切な仲間と共に 農業の課題解決にまい進

「よそにはない商品」で知名度アップを実現
有限会社南原農園の南原奈美子さんは、ブライダル用の花や葉物の生産と、プリザーブドフラワーの加工・販売を行っています。プリザーブドフラワーに挑戦するきっかけとなったのは、2006年、主力商品の花の売れ行きが低迷したことでした。一定の需要はあるため生産をやめるわけにもいかず、花を廃棄するのを心苦しく感じていた時、目をつけたのがプリザーブドフラワーです。

プリザーブドフラワーとは、植物をアルコール類に浸して脱水・脱色した後、染料で着色したもの。加工することで

生花のようなみずみずしさが数年保たれ、贈り物などとして人気があります。セミナーを受講して加工技術やフラワーアレンジを学び、自社で生産している植物の加工に着手しました。徐々にハイビスカスやプルメリア、チューリップなど、プリザーブドフラワーではあまり見ない植物の加工に力を入れ始め、知名度がアップ。着実に売上を伸ばしていったといいます。また、プリザーブドフラワーの仏花など珍しい商品も開発。商品がずらりと並ぶ事務所には、しばしばお客さんが訪れます。「生産だけをしていた頃はお客さんが来ることはなかった。そういう意味でも挑戦して良かったですね」と奈美子さんは話します。



今回の農家

花・葉物農家

取材協力

有限会社 南原農園(さつま町) みなみはら なみこ
南原 奈美子 さん

ブライダル用の花・葉物の生産を行うと共にプリザーブドフラワーの加工・販売も手がける。



彼女たちは、私にとって本当に大切な存在なんです」と奈美子さんは生き生きとした表情で話します。

今春から外国人技能実習生の受け入れという新たな挑戦を始めた南原農園。実習生が元気に働ける環境を整えることが目下の目標です。また、奈美子さんには「もっと多くの人も商品を買ってほしい」という思いも込められています。南原農園のスタッフとさつまファームレディ倶楽部というかけがえのない仲間と共に、奈美子さんはこれからも夢の実現のため、挑戦を続けます。

お知らせ

＼さらなる経営発展を支援します！/ かごしま農業経営相談所

「農業経営を法人化したい」「事業拡大に取り組みたい」など、農業経営のお困りごとはありませんか？
無料で相談に応じていますので、ぜひご連絡ください。

■問い合わせ先
かごしま農業経営相談所 Tel.099-286-5815
(県庁鹿児島県農業会議内)